

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 5 年 4 月 15 日

事業所名 運動療育センターキートス

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|---------|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|-----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------|
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である | 6 | 1 | <ul style="list-style-type: none"> ・2階で人数が多い時、騒いでいるときなどは随時、別室を利用している。 ・室内の周りに遊具が見えるように置いてあるので、子どもたちと一緒に好きな遊具を選ぶ事ができるが、気がそれて話や運動に集中できない事もある。 ・スペースに応じて人数を割り振っている | |
| | 2 | 職員の配置数は適切である | 7 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> ・スタッフで協力して仕事を進めるようにしている。 ・手があいているスタッフには声をかけるようにしている。また、自分に時間がある時も他のスタッフに声をかけて仕事を分担するようにしている。 ・全体に目がいくように職員間で声かけを行っている | |
| | 3 | 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている | 5 | 2 | <ul style="list-style-type: none"> ・子供の人数と比較して空間が狭いので、常に子供の行動を観察している。 ・動線や共用スペースをできるだけ広く取っている | ヒヤリハットの研修会を設けて日々のリスク管理に対する注意喚起を図る場を定期的に行います |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている | 7 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> ・清潔に保つように消毒と掃除は毎日実施している。 ・畳や壁が破れてたりする所がある。 ・毎日部屋、トイレの清掃、使った道具や玩具の消毒を行なっている。 ・使用后だけでなく、利用前にも清掃をおこなっており、必要に応じて適時おこなっている | |
| 業務改善 | 5 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している | 5 | 2 | <ul style="list-style-type: none"> ・自分で工夫している事を各自みんなに声掛けができていない部分がある。今後は、もっとなんでも意見を交換していきたい。 ・定期的に業務ミーティングが行われている。 ・スケジュールを一元化しどの職員も見ることが出来、お互い声かけを行うことで進捗状況を把握している | |
| | 6 | 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている | 7 | 0 | 連絡帳、ラインでの要望は支援ミーティングでみんなに周知して対応を工夫している。今後、もっとそれぞれの子供にあった支援をするために意見を出しやすい環境を整えていく必要があると考える。 | 頂いたご意見を振り返り、改善案を出し合う機会を作ります |
| | 7 | 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している | 7 | 0 | | |
| | 8 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている | 6 | 1 | | |
| | 9 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している | 7 | 0 | 定期的に研修を開催している。各自の意見を発表する機会を与えている。 定期的に社内研修が行われている。 | |
| | 10 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している | 7 | 0 | 支援計画を作成するときには、かならず保護者に要望を聞いて計画に反映させている。 | |
| | 11 | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している | 7 | 0 | | |
| | 12 | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている | 7 | 0 | | |

| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 | |
|--------------------------|--------|---------------------------------------------------------------------------------|-----|---------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------|
| 適切な支援の提供 | 13 | 児童発達支援計画に沿った支援が行われている | 7 | 0 | | |
| | 14 | 活動プログラムの立案をチームで行っている | 5 | 2 | <ul style="list-style-type: none"> ・運動に関しては理学療法士が中心、2階での活動は主に児童指導員と保育士でやっている。 ・季節のイベントは全員で意見を出して計画を立てている。 ・毎日、活動グループごとの内容や対応など事前に話し合っている。 ・特定の人だけでプログラムを決めていることが多い | 個別支援会議等でプログラム立案の意見を募る機会を設けます |
| | 15 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫している | 6 | 1 | 今のところ、やはり同じような内容になっている。今後は定期的に変更するシステムが必要だと考える。いろんな運動プログラムを考案したり、季節に応じた行事も取り入れるようにしている。 | |
| | 16 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している | 7 | 0 | | |
| | 17 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している | 6 | 1 | 朝礼で役割を伝えている。 送迎がある為出来ない時もある。 | |
| | 18 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している | 5 | 2 | 翌日の朝礼で情報の共有をしている。また、活動日誌でその日の様子を残している。 その日の振り返りまでは出来ていない時もある。 当日となるとなかなか時間がないため、後日等になってしまうことが多い | |
| | 19 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | 6 | 1 | 活動日誌や朝礼で改善点を話し合っている。 日誌を記録する人に偏りがある。 | |
| | 20 | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している | 7 | 0 | | |
| 関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携 | 21 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している | 7 | 0 | | |
| | 22 | 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている | 7 | 0 | 相談事業所、学校など関係各所と連絡を取り情報の収集をして支援計画に反映させている。 | |
| | 23 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている | 4 | 3 | | |
| | 24 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている | 3 | 4 | | |
| | 25 | 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている | 7 | 0 | 送迎の際や電話で、保育園、幼稚園側との情報共有を行なっている。 | |
| | 26 | 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている | 6 | 1 | 学校に電話をして学校での様子を確認している。 | |
| | 27 | 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている | 5 | 2 | 児童発達支援センターと連携を取り、児童の様子や対応について話し合っている。 | |
| | 28 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある | 1 | 6 | | |
| | 29 | (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している | 3 | 4 | | |
| | 30 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている | 7 | 0 | 連絡帳とラインで情報交換をしている。 直接会えない保護者とは連絡帳やメール等で共有している。 | |

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|------------|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|-----|--------------------------------------------------------------------------------|--------------------------|
| 保護者への説明責任等 | 31 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている | 2 | 5 | | |
| | 32 | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている | 7 | 0 | 契約のときには詳しく説明している。 | |
| | 33 | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている | 7 | 0 | ラインや電話、送迎のときに行っている。 | |
| | 34 | 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている | 6 | 1 | | |
| | 35 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している | 1 | 6 | | |
| | 36 | 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している | 7 | 0 | 相談や申し入れがあった場合、スタッフ全員で共有し、対応策などを話し合っている。 | |
| | 37 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している | 6 | 1 | 会報は発行していないが、常に連絡帳とラインで発信している。 会報というものはないが、LINEで活動の様子の写真を送ったり、行事のアナウンスをしている。 | |
| | 38 | 個人情報の取扱いに十分注意している | 7 | 0 | 保護者に本人以外の児童の顔が映った写真を送らないようにしている。 | |
| | 39 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている | 7 | 0 | | |
| | 40 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている | 3 | 4 | | |
| 非常時等の対応 | 41 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している | 7 | 0 | 定期的に行っている。 | |
| | 42 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | 7 | 0 | ただ行うだけでなく、実施後には児童も含めての振り返りをおこなっている | |
| | 43 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している | 7 | 0 | 発作時の対応について、スタッフ全員で研修を行い、迅速に対応出来るように心がけている。 | |
| | 44 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている | 7 | 0 | エビベン利用のシュミレーションを行ったり、食事の際、誤食を予防する為他の子の近くに座らないようにしている。 | |
| | 45 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | 4 | 0 | | |
| | 46 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | 7 | 0 | | |
| | 47 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している | 7 | 0 | | |

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は事業所全体で行った自己評価です。